



IR REPORT

第21期 株主通信

2013年8月1日から2014年7月31日まで

CONTENTS

● What's CCS	01
● 株主の皆様へ	02
● トップインタビュー	03
● 特集:シーシーエスの中国戦略	05
● 連結決算の状況	07
● トピックス	09
● 会社概要	10

シーシーエス株式会社

証券コード:6669

シーシーエスは1993年に京都にて設立以来、工業用LED照明メーカーとして成長してまいりました。

工業用途で培ったノウハウや技術を強みに新しい事業分野へも展開しています。

また、北米、アジア、ヨーロッパへと海外へも事業を展開しています。

工業用照明分野



マシンビジョン照明

シーシーエスは、マシンビジョンLED照明におけるリーディングカンパニーとして、独自のコアテクノロジーに基づき開発したバリエーション豊かな照明ラインアップとライティングソリューション*を提供しています。

*ライティングソリューション=光の照射範囲、照射角度、照射波長など、さまざまな要素を組み合わせた光の当て方の総合的なノウハウをいいます。

新規FA照明

マシンビジョン照明で培った技術とノウハウをその他の工業用照明にも展開しています。紫外線硬化樹脂を利用したフィルムやシートの接着工程に、UV(紫外)LED照射器を提供しています。

マシンビジョン照明とは

さまざまな製品の製造ラインで画像処理技術が活用されていますが、撮像対象物に応じて光の調整が必要となることから、LED照明がこの画像処理における成功のカギを握っています。微細で複雑な工業用製品をはじめ、飲料ボトルや食品パッケージなど、人間の目では判別が難しい欠陥検査に多く使われています。最近では太陽電池やリチウムイオン電池、液晶パネルや高機能フィルムの検査など、その用途は広がっています。



新規事業分野

美術館・博物館用照明

世界最高水準の演色性*をもつ「自然光LED」を強みに、美術館・博物館に最適な照明を提供しています。

*演色性=一般的に演色性の高い光源とは、対象物の色合いを変えずに照らし出すものをいいます。

メディカル用照明

内視鏡用などの診断機器をはじめ、治療に必要な光の応用方法を研究・開発しています。特定の光を必要とする手術用にLED照明等を提供しています。

アグリバイオ用照明

大学や研究所向けに独自開発の植物育成用LED照明を提案すると同時に、植物工場向けにPHILIPS社照明や最適な光環境の提案も行っております。

LEDデバイス

「自然光LED」デバイスや、UV-LEDデバイス等のオリジナルLEDデバイスやモジュールをさまざまな製品へ提供しています。

株主の皆様へ
To Our Shareholders

中国での合併会社も稼働を開始し、“新生CCS”の構築へ向け着実に前進しております。

ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当期は「弛まぬ変革と飽くなき挑戦」をスローガンとし、前期に引き続き中期経営計画の基本方針である「経営基盤の強化」「MV(マシンビジョン)事業の強化と新規事業の堅実拡大」「開発力の強化と革新」をもとに事業を推進いたしました。その結果、当期の業績は、売上高5,509百万円(前年同期比13.4%増)、営業利益561百万円(前年同期比37.0%増)、経常利益491百万円(前年同期比39.4%増)、当期純利益398百万円(前年同期比12.0%減)となりました。業績への評価につきましては、中国における合併会社の稼働が予定より遅れ、業績への寄与が少なかった点があったものの、数字的には概ね計画通りであり、一定の成果が出せたと思います。当社は“新生CCS”の構築に対し、株主様をはじめとするすべてのステークホルダーのご期待に応えるため、重要課題の改革の一つひとつ着実に取り組み、その成果も上がってきております。株主様におかれましては、今後もさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▶2014年7月期の業績概況

売上高 5,509百万円 (前期比13.4%増)	営業利益 561百万円 (前期比37.0%増)	経常利益 491百万円 (前期比39.4%増)	当期純利益 398百万円 (前期比12.0%減)	1株当たり当期純利益 96.28円 (前期比13.13円減)
--------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------

※2014年2月1日付で、普通株式1株を200株に分割しています。

社是 お客様に愛と感謝

基本理念 光を科学し、社会に貢献する

行動指針 すべてはお客様のために

代表執行役社長 各務嘉郎

国内外の市場の伸びを追い風に、 開発力・技術力・営業力に一層の磨きをかけ拡大を図ってまいります。

Q 第21期(2014年7月期)における主要施策として、どのような取り組みをされましたか。

A とくに下半期において、前期より取り組んできた営業改革が実を結び始めてまいりました。

当社グループは、前期より“新生CCS”の構築へ向け、様々な取り組みを実施しておりますが、当期においてその成果が徐々に表れてまいりました。その一つが営業改革です。これまで、とすれば画像処理用LED照明のリーディングカンパニーという業界でのポジショニングや高い技術・製品に安住する傾向があり、お客様との結びつきが希薄でした。こういった課題を解決するため、待ちの姿勢から積極的にお客様へアプローチし、コミュニケーションを深めていくよう意識改革に着手してまいりました。別の角度でいえば、目標数字にこだわり「負けて悔しさを感じる」営業マンの育成です。

従来より当社グループの業績は下半期に偏る傾向があり、当期においてもこの点は解消できませんでしたが、下半期、とくに第4四半期において業績がぐんと伸び、通期の結果としては、ほぼ計画通りの業績結果が残せました。その主な要因は全社一丸となり、営業部門が目標達成にこだわって必死の頑張りを示したことにほかなりません。その動きに対し経営者として非常に感謝しており、意識改革が一歩進んだと実感して

おります。

事業分野別では、工業用照明分野は、国内外ともにMV(マシビジョン)市場が拡大傾向にあるのを追い風に、第21期は非常に堅調な推移を示すことができました。当初目標にしていた国内2%・海外3%のシェアアップは達成しております。なかでも食品・医薬品・化粧品の三品業界と自動車業界向けが伸び、電子・半導体業界に偏り過ぎていた収益構造が少し改善されました。

LED照明デバイス事業や美術館・博物館分野、メディカル分野、アプリバイオ分野の新規事業については、LED照明デバイス事業は伸び悩みましたが、全体として順調に伸びを示しました。新規事業分野はようやく全社業績に寄与するレベルまできました。

Q 事業推進の方向性として「工業用照明事業の海外展開」を掲げておられますが、その進捗状況をお聞かせください。

A 第21期における最大のトピックスは、2014年5月に稼働した中国の合併企業です。

中国市場における戦略として、高品質・高機能・高性能の「CCSブランド」と、中品質・中機能・中性能・低価格の「Rseeブランド」を二大ブランドとして、互いに補完しお客様の

ニーズに合わせた展開を推進しております。中国は、世界から製品の信頼性を求められており、人件費の上昇と相まってMV市場は急速に拡大することが予想されます。今回、広東省に設立した合併会社Rsee(東莞銳視光電科技有限公司)の「Rseeブランド」を核とした展開で、中国におけるトップシェア獲得を目指しております。

中国以外のアジア地域については、シンガポールのCCSアジアを中心に海外の特注品に対応する体制を整えました。また、2014年6月にはタイのバンコクに日本から人材を派遣しており、将来的には営業所を開設して、メコン川流域の需要を取り込んでいきたいと考えております。まずは進出している日系企業がターゲットになります。

北米については、2014年1月にメキシコ国境に近いテキサス州のエル・パソに拠点(テストングルーム)を設けました。メキシコも含めこの地域は、半導体・三品・自動車などの現地企業の拠点・工場等が多く集まっております。お客様の現場に近い場所でシーシーエスのLED照明を使ってワークテストをしていただき、お客様のニーズにスピーディにお応えすることで、新たな顧客獲得を目指しております。欧州は、これまでの照明単品の商売から、ニーズが高まってきた通信を含めたシステムの提案ができるような製品開発を推進しているところ です。

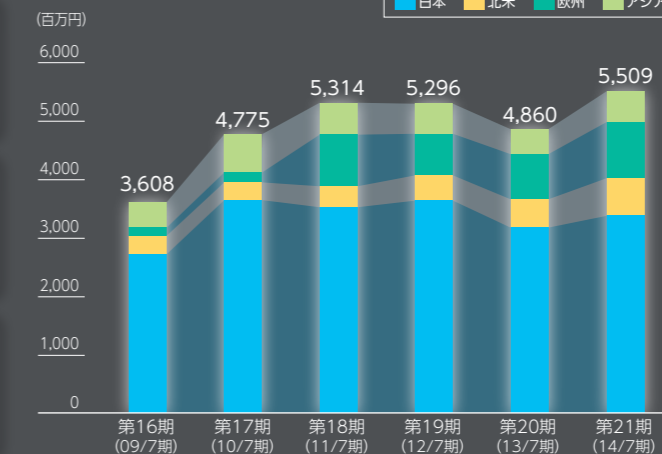
■第22期の重点方針

経営体質の革新
①企業連携の積極推進による経営基盤の強化
②付加価値を生み出すすべての生産活動の効率化
③顧客満足を最大にする人的品質・製品品質の徹底追究

MV事業の拡大と新規事業の再構築
①総合力練磨による断トツトップシェア、CCSブランドの盤石化
②未開拓エリアや攻めきれない海外市場への積極攻勢
③新規事業の成長性、実現可能性etcの再検証と新芽発掘

開発力の更なる革新強化
①マーケティング力とシームレス製品企画力の徹底強化
②顧客QCDSの満額回答を可能にする技術・生産力の高度化
③ライバルを凌駕する先を見据えたコア技術の先行開発

■地域別売上高



Q もう一つの「当社の強みを転用できる事業領域への事業展開」についてはいかがでしょうか。

A システム製品の開発と新たな新規事業領域の開拓を第22期(2015年7月期)の目標に掲げております。

企業の強みとしては、①21年間培ってきたライティングソリューション力と豊富な品揃え、②我々が有するLEDのチップ・オン・ボード技術(COB: Chip On Board/チップ電極とプリント基板配線の接続技術)、③モノづくりのコア技術と問題解決力があります。とくにチップ・オン・ボード技術は、新規事業開拓の要です。これら差別化できるノウハウ・技術等を磨き、第22期としては、工業用照明分野ではシステム製品の開発と提供、新規事業分野では現状の4分野のブラッシュアップと新たな事業領域の開拓を目標としています。

Q 第22期の見通しおよび中期展望もまじえ、株主様へのメッセージをお願いいたします。

A 「正しいことを正しくやる、当たり前のことを当たり前にする」をスローガンとし、さらなる改革を推し進めます。

経済状況については国内外ともに景気・成長の減速等、不透明感がありますが、当社グループの市場でいえば、国内における半導体業界の設備投資が過去最高を記録するのではといった予測や、第22期も引き続き伸びが期待できる三品・自動車業界があり、第21期の第4四半期に見せた営業力を発揮すれば、総じて堅調な成長が望める1年になるのではと考えております。そこで第22期は「正しいことを正しくやる、当たり前のことを当たり前にする」をスローガンとし、中期経営計画の基本方針に沿って、①経営体質の革新(積極的な企業



連携、営業・管理・開発部門も含めた全社的な生産性のアップ等)、②MV事業の拡大と新規事業の再構築、③開発力の更なる革新強化(年間通じてのシームレスな開発、顧客に対するQCDS(Quality=品質、Cost=価格、Delivery=対応・納期、Service(Support)=サービス(サポート))の「満額回答」等)を年間テーマといたしました。

中長期の展望としては、売上高100億円を早期に達成することを目指しています。工業用照明分野では国内・海外の売上比率を50%ずつにし、事業別では工業用照明分野と新規事業分野の売上比率をやはり50%ずつにすることで、特定の業界、地域に依存しない強固な経営基盤を作りたいと考えています。“新生CCS”の構築には、まだしばらくの時間を要するかもしれませんが、改革のスピードアップを図り、高い収益の確保、社内の意識改革を進める中で、企業価値の向上に今後も努めてまいります。

工業の高度化が進む中国で、MV市場の制覇へ向けて 広東省に合併会社“Rsee”を設立

Rsee：東莞銳視光電科技有限公司 英語表記 Rsee Lighting Technology Co.,Ltd.

▶中国市場の状況

2017年のMV(マシンビジョン)照明市場は 約50億円(2014年の約1.8倍)に拡大

中国のMV(マシンビジョン)照明市場は、2012年で約18億円と推定されていますが、2014年は約28億円、2017年には約50億円にまで成長することが見込まれています。

その背景には、以下の理由があります。

- ①中国における工業生産が拡大している。
- ②品質要求の高度化：品質要求の高まりによる検査機器の需要の増加
それに伴って、画像処理用照明も、より高精度の検査ニーズが高まっている。
- ③人件費高騰への対応：人件費の高騰に対応するため、MV(マシンビジョン)による生産効率の向上
これまで、目視検査していたものが、人件費の高騰で、自動化が進展しており、MV(マシンビジョン)市場が拡大している。



広東省 東莞市

▶中国合併会社を設立

2014年1月に工業用照明機器の 開発・製造・販売会社を設立し、5月に稼働開始

シーシーエスは、2003年9月に上海に駐在員事務所を開設して以降、中国市場にシーシーエス製品を提供してまいりました。今後ますます成長が見込まれる中国市場のニーズにマッチした製品を世に送り出すため、現地の有力MV(マシンビジョン)関連企業との業務提携を計画いたしました。

2013年11月に中国広東省東莞市の中国第2位の画像処理用LED照明メーカーCST(東莞科視自動化科技有限公司)社と合併契約を締結、2014年1月に合併会社Rseeを設立、CST社の画像処理用LED照明ビジネスはすべてRseeに移管いたしました。そして、同年5月には新社屋・新工場を開設し、稼働開始いたしました。

Company Profile

商号	東莞銳視光電科技有限公司
所在地	中国広東省東莞市
代表者	大西 浩之
事業内容	工業用照明機器の開発・製造・販売
資本金	18,140千元
設立	2014年1月
出資比率	シーシーエス株式会社51%



▶シーシーエスの中国戦略

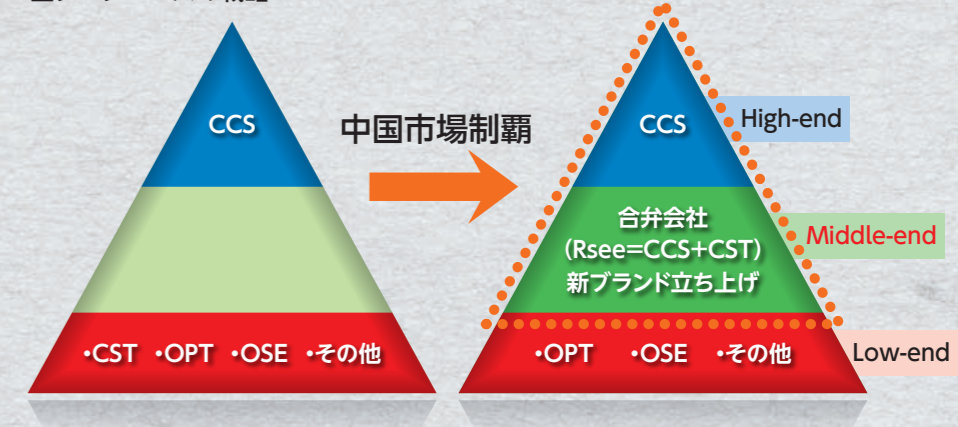
高まる品質要求にRseeブランドの展開で 市場ニーズをキャッチ

現在の中国市場は、シーシーエスが展開しているハイエンド製品のマーケットと、中国のローカル企業が展開しているローエンド製品のマーケットで大きく2分される構成となっています。

一方で、中国市場における工業は年々高度化が進んできており、ローエンド製品よりも高い信頼性、高い品質をもった画像処理用照明、「ミドルエンド製品」に対するニーズが急速に拡大しています。

シーシーエスは、この「ミドルエンド製品」へのニーズに対応し、中国企業であるCST社の製品をベースに高品質化を推進し、ミドルエンド市場の創出を図ることで、今後、CCSブランドとRseeブランドによって、中国の画像処理用照明の市場を席巻していく計画です。

■シーシーエスの戦略



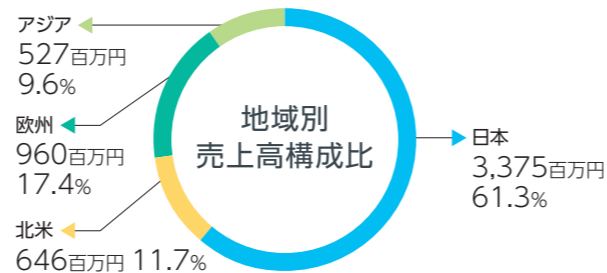
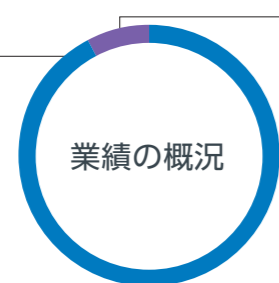
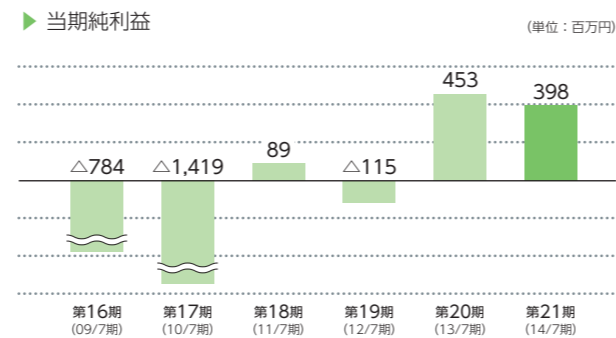
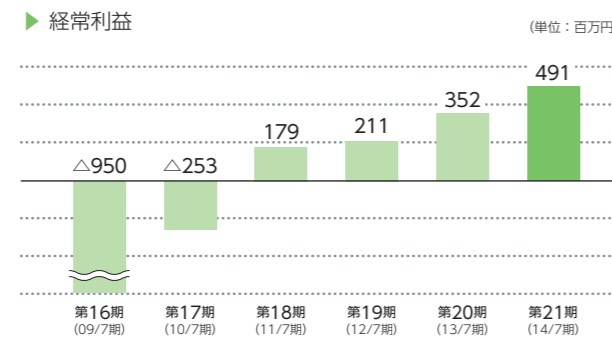
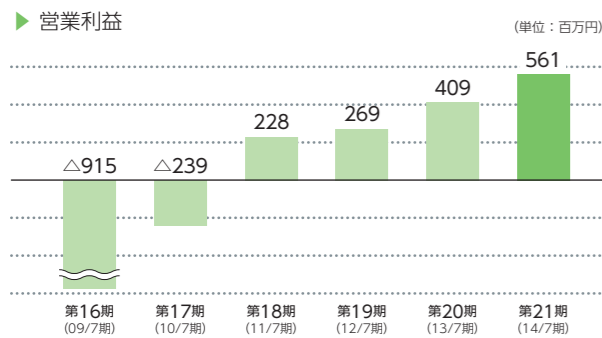
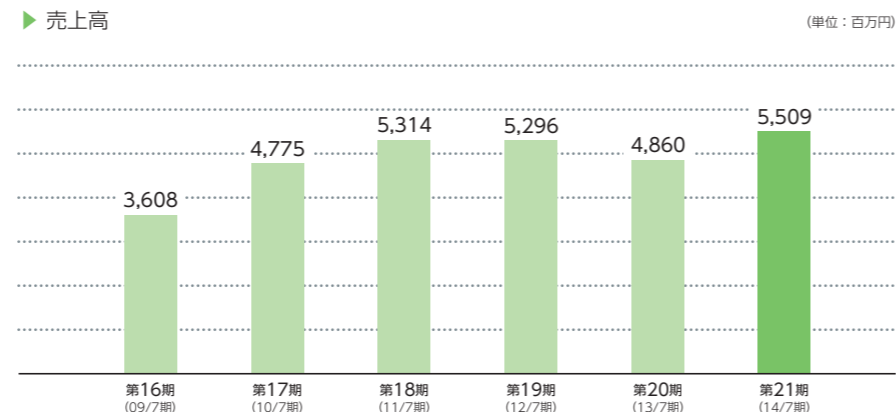
連結決算の状況

Consolidated Financial Highlights

決算のキーポイント

2013年8月1日～2014年7月31日(第21期連結会計年度)
※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

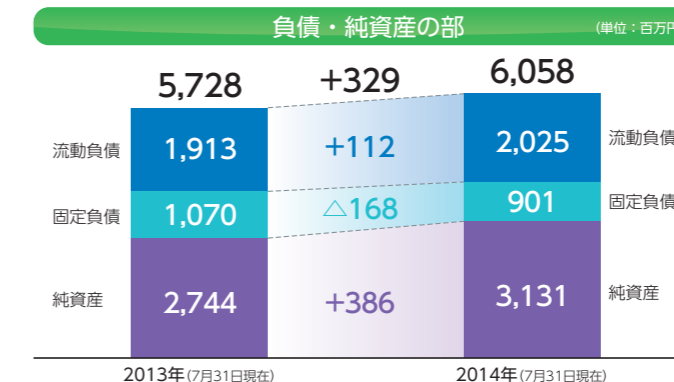
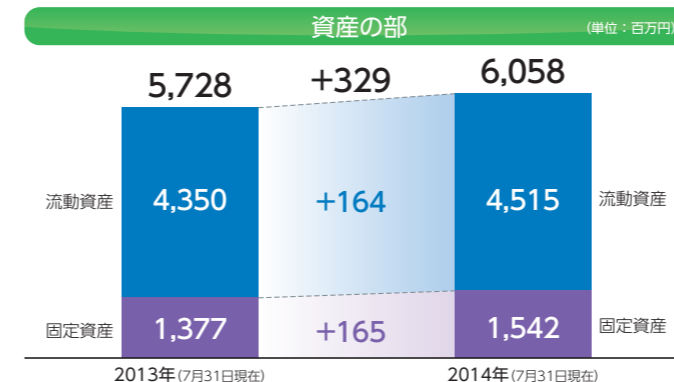
- ▶ 工業用照明分野では、景気回復基調による、国内マシンビジョン事業の回復と欧米の好調を背景に、国内売上高、海外売上高ともに前期に比べて増加いたしました。
- ▶ 中国広東省に設立した、現地企業との合併会社Rseeが2014年5月より本格稼働いたしました。
- ▶ 新規事業分野においては、当社の優位性を活かした積極的な拡販を進めた結果、売上高は好調に推移いたしました。



設備投資の緩やかな回復および円安による為替効果に加え、営業改革を推進した結果、売上高は増加いたしました。

当社の強みである“自然光LED”や、優位性を活かした販売戦略を推進した結果、売上高は好調に拡大いたしました。

連結貸借対照表



ポイント
売上が増加したことで売掛債権が増加し、システム投資、その他資産投資により資産が増加いたしました。借入金の返済が進んだことで、固定負債が減少しました。当期純利益の増加に伴い、純資産が増加いたしました。

第22期見通し

工業用照明分野は、国内では、顧客への迅速なソリューション提供を推進するべく営業拠点(テストングルーム)の増設や強化を行い、地域密着によるさらなる顧客満足度向上を目指してまいります。海外では、中国に設立した合併会社Rseeによる中国市場の席巻を図るとともに、米国テキサス州に設立した営業拠点を足掛かりに、米国南部、メキシコ、中南米などの未開拓エリアへの積極攻勢を進めてまいります。新規事業分野は、代理店との提携やパートナー企業連携を強化し、さらなる売上高の拡大を目指します。

以上により、売上高6,400百万円、営業利益650百万円、経常利益600百万円、当期純利益440百万円を見込んでおります。

配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を継続して行うことを重要な経営課題と認識しております。利益配当につきましては、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮した上で、将来の事業拡大を総合的に勘案し、適切に実施していく方針です。第22期の配当に関しましては、前期同様の水準とする予定です。

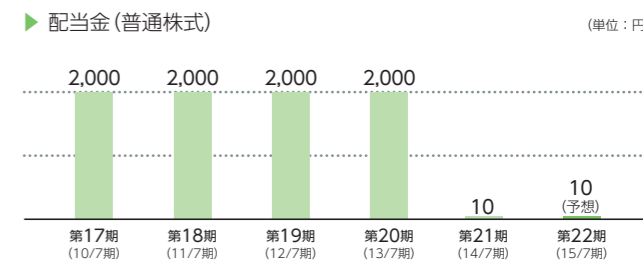
詳細な財務情報のご案内

当社ホームページの[IR情報]に各種資料を掲載しております。

IR情報 http://www.ccs-inc.co.jp/s3_ir

2015年7月期(第22期)連結業績予想・配当予想

売上高	6,400百万円
営業利益	650百万円
経常利益	600百万円
当期純利益	440百万円
1株当り年間配当金	10円



※2014年2月1日付で、普通株式1株を200株に分割しております。

展示会出展情報

TOPICS 01

ファインテックジャパン2014

会期：2014年4月16日～18日 会場：東京ビッグサイト

2014年4月16日から東京都江東区の東京ビッグサイトに於て3日間開催された「ファインテックジャパン2014」に出展いたしました。

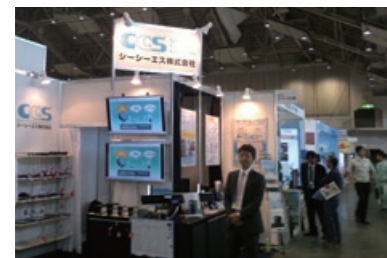
フィルムのスクラッチ(キズ)検査や異物検査など、フィルム欠点検出に特化した「ラインセンサ用LED照明」と、インク硬化や接着・定着に最適な「高出力UV-LED照射器」を出展いたしました。

また、シーシーエスオリジナル製品の高演色性自然光LEDのご紹介のほか、今後のご提案の幅を広げるレーザー光のイメージ展示を行い、多くのお客様にご紹介いたしました。



MEX金沢2014

会期：2014年5月15日～17日 会場：石川県産業展示館



2014年5月15日～17日に、石川県産業展示館で開催された「MEX金沢2014(第52回機械工業見本市 金沢)」に出展いたしました。

「画像検査は照明設計から!」をコンセプトに画像処理検査の課題が照明で解決できることを提案させていただきました。また、出張テストングルームを用意し、実際に画像処理でお困りのお客様に最適な照明をその場でご提案。課題解決にご満足いただくことができました。

Automation Exhibition

会期：2014年6月18日～20日 会場：中国広東省

2014年6月18日から中国広東省深圳市にて3日間開催された「Automation Exhibition」に合弁会社Rseeが出展いたしました。シーシーエス技術指導のもと製造された、Rseeブランドの製品をお客様にご紹介いたしました。中国の様々な製造現場で高まる品質要求にお応えできるRsee製品は、すでに中国国内でも高い評価を得ております。



新製品情報

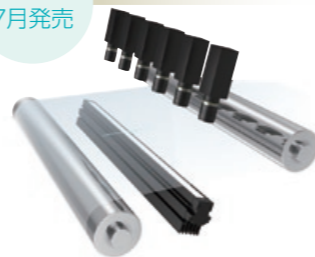
TOPICS 02

LNISシリーズ

LEDでは検出が難しかったキズ検査が可能に

「LNISシリーズ」は、照明からV字型の斜めの光を2方向に向けて照射することで、製造ラインの流れと同じ方向についたキズを検出することを可能にいたしました。通常のLEDの光はまっすぐにしか進まないため、V字型に光を照射するには、まったく新しいLEDを製造する他なかったのですが、シーシーエスは独自の光学設計によって、それを実現することができました。

2014年
7月発売



PFBR-150SW

レボックス(株)との初の共同開発、250Wメタハラ光源を超えた明るさを実現

「PFBR-150SW」は、高出力LEDと独自の集光技術で、250Wメタハラを超えた明るさを実現し、業界最高水準となる200万lxを達成いたしました。^{*1} また、光源のLED化により、寿命は2,000時間から30,000時間(15倍)^{*2}となり、球切れによるランプ交換の手間やコストの大幅削減、さらに消費電力の約30%^{*3}削減が可能になりました。

^{*1} 結末径10mmのストレートライトガイドを装着、ファイバー端面より50mm離れた位置での実測値
^{*2} ^{*3} メタルハライドランプとの比較の計算値

2014年
3月発売



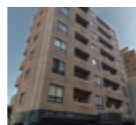
営業拠点

TOPICS 03

お客様への迅速なライティングソリューションのご提供と、地域密着型の営業強化を実現するために、テストングルーム(実験室)を開設いたしました。これにより、これまでの国内4拠点(京都、東京、名古屋、仙台)から、国内6拠点体制となりました。

金沢テストングルーム

開設日	2014年9月1日
所在地	石川県金沢市北安江1-13-38 ロイヤルパークプラザ301
問合せ先	名古屋営業所 TEL 052-541-6550



守山テストングルーム

開設日	2014年9月1日
所在地	滋賀県守山市梅田町10-1 梅田スカイビル3F
問合せ先	本社 西部営業所 TEL 075-415-8277



会社概要

(2014年7月31日現在)

本社所在地 〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴岡町374番地
TEL.075-415-8280(代表) FAX.075-415-8281(代表)

設立 1993年10月6日

資本金 462,150千円

従業員数 213名(連結) 187名(単体)

取引銀行 みずほ銀行・三井住友銀行・三菱東京UFJ銀行・京都銀行

事業内容 画像処理用LED照明装置および制御装置の開発、製造、販売
顕微鏡光源用、植物育成用、医療用、美術館・博物館用、
その他LED応用照明の開発、製造、販売

事業所 生産センター、光技術研究所、東京営業所、名古屋営業所、
仙台テストングルーム、上海駐在員事務所、深圳駐在員事務所、
台湾駐在員事務所

関係会社 CCS America, Inc. CCS Asia PTE. LTD.
CCS Europe N.V.
CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT. LTD.
東莞銳視光電科技有限公司



役員

(2014年10月29日現在)

取締役兼代表執行役社長	各務 嘉郎	常務執行役員	大西 浩之
取締役兼代表執行役専務	松室 伸二	執行役員	石井 博規
取締役(社外)	中河 光雄	執行役員	梶 紀公
取締役(社外)	酒見 康史	執行役員	吉田 正信
取締役(社外)	岩本 朗	執行役員	豊福 敏之
取締役(社外)	徳尾 陽太郎	執行役員	梶原 慶枝

株式の状況

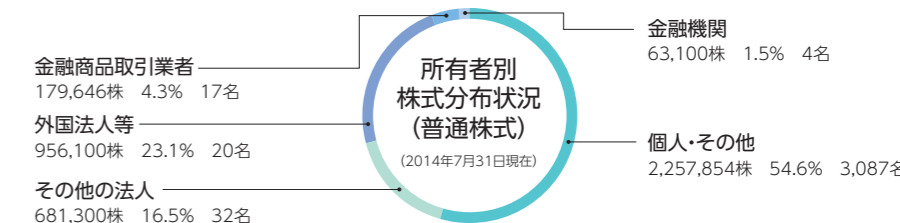
(2014年7月31日現在)

発行可能株式総数	12,005,103株
(内訳)	普通株式 12,000,000株 A種優先株式 5,103株
発行済株式の総数	4,143,103株
(内訳)	普通株式 4,138,000株 A種優先株式 5,103株
普通株式の単元株式数	100株
株主数	3,164名
(内訳)	普通株式 3,160名 A種優先株式 4名

大株主の状況(普通株式)

(2014年7月31日現在)

株主名	株式数	所有株式数の割合
1 ピースヴィラ・エルピー	483,000株	11.67%
2 ハッピーコースト・エルピー	290,400株	7.02%
3 株式会社サン・クロレラ	270,000株	6.52%
4 三菱化学株式会社	255,200株	6.17%
5 サン・クロレラ販売株式会社	112,000株	2.71%
6 株式会社SBI証券	88,600株	2.14%
7 茂木政道	87,400株	2.11%
8 カームシー・エルピー	68,400株	1.65%
9 プレザント・バレー	57,200株	1.38%
10 シーシーエス従業員持株会	56,400株	1.36%



株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎年10月
基準日	期末配当金 毎年7月31日 他の配当を行うときは都度会社が定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先・連絡先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きについては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(フリーダイヤル)
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)にてお取扱いいたします。

公告方法

電子公告
公告掲載 URL
<http://www.ccs-inc.co.jp/ir/koukoku.html>
(事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード 6669

WEBサイトのご案内

「企業情報」では、動画とイラストでシーシーエスの事業内容や強みについて知っていただける「3分で分かるCCS」をご覧になれます。「IR情報」では、財務ハイライトやニュースリリース、説明会の動画などを随時更新しています。ぜひご覧になり、「お問い合わせ」のページからご意見・ご質問など、皆様のお声をお寄せいただければ幸いです。



トップページ

「IR情報」の入り口はこちらです。

3分で分かるCCS

入り口はこちらです。

IR情報ページ

最新の情報が見やすくなっています。



<http://www.ccs-inc.co.jp/>



シーシーエス株式会社

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴岡町374番地
TEL : 075-415-8280(代表) FAX : 075-415-8281(代表)

未来が変わる。日本が変わる。



ご注意

この株主通信に掲載している将来に関する予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

